

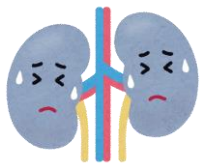
腎代替療法

患者さんへのワンポイントアドバイス



腎代替療法とは…

腎機能が悪化し、自分の腎臓では体の環境を維持できなくなったとき、腎臓の代わりにする治療のこと



腎機能が低下すると体に老廃物が溜まり尿毒症という様々な全身症状が現れてきます
腎臓の働きが限界になってきたら腎代替療法が必要です

進行するとあらわれる尿毒症自覚症状の例



夜間の尿が増える



貧血



むくみ



息切れ



だるさ



3つの腎代替療法の種類と特徴

血液透析



- 動脈と静脈を繋ぎ合わせるシャント手術が必要です
- 透析施設に通院して、1回4～5時間の透析を週3回受けます

腹膜透析



- 透析液を出し入れするためのカテーテルをお腹に埋め込む手術が必要です
- 自宅で、通常一日4回の透析液交換を行います
- 月1～2回の通院が必要です

腎移植



- 腎臓を提供してくれるドナーが必要です
- 全身麻酔での移植手術を行います
- 月1回程度の通院が必要です
- 生涯、免疫抑制剤の内服が必須となります

腎代替療法

患者さんへのワンポイントアドバイス



check

あなたの腎機能をeGFR値でチェックしてみましょう！



eGFR

eGFR（推算糸球体濾過量）とは、あなたの腎臓が今どれくらい働いているかを示す値です

低いほど悪い



40

…… 医療機関の継続受診が必要



30

eGFR30以下になると要注意!!
…… 腎機能が回復していくことは難しくなり
さまざまな自覚症状があらわれるようになります



20

…… 腎代替療法について情報提供します
どの治療法が最も適しているか共に考えていきます



15

…… eGFR15以下になると**腎移植**が可能です
eGFR10以下になると**血液透析・腹膜透析**の準備が必要

腎機能について気になる方はお気軽にご相談ください
腎代替療法指導士・腎移植コーディネーターが対応します